

国土交通省スマートシティモデル事業に春日井市が選定 「高蔵寺スマートシティ実行計画(仮称)」を策定します

1 目的

高蔵寺リ・ニュータウン計画に掲げる「快適移動ネットワークの構築」や「多様な移動手段の確保」に資するため、名古屋大学と連携し、国土交通省が所管するスマートシティモデル事業に、自動運転を含むモビリティサービスに関する複数のプロジェクトを提案しました。その結果、全国から提出された 73 提案のうち、全国のプロジェクトの牽引役となる先駆的な取組を行う「先行モデルプロジェクト」15 事業の 1 つとして選定されました。

今後は、国土交通省と連携しながら、高齢者を含む全ての世代の居住者の外出頻度の向上や健康増進、QOL(「Quality of Life」:生活の質)向上を目指すための取組方針である「高蔵寺スマートシティ実行計画(仮称)」を策定していきます。

2 実施内容

自動運転技術等の先進技術による快適なまちづくりを目指すため、国と連携して「高蔵寺スマートシティ実行計画(仮称)」を策定し、ニュータウン版 MaaS を担う移動手段等として、次の 4 つのプロジェクトを、複合的に推進していきます。

- (1)「新たなモビリティサービスの導入による移動支援(ラストマイル自動運転)」
- (2)「拠点からの各施設へのシームレスな移動(ユニバーサル相乗りタクシー)」
- (3)「バス専用レーンの整備(自動運転バス等検討)」
- (4)「交通社会ダイナミックマップ※の活用」



ラストマイル自動運転



相乗りタクシー

※交通社会ダイナミックマップとは、名古屋大学が提案するソフトウェアプラットフォームであり、これにより車両の位置情報や走行経路情報等を共有化・可視化することができ、自動運転サービスの補助等への活用が期待できる。

3 高蔵寺スマートシティ推進検討会

プロジェクト推進主体：春日井市、名古屋大学

スマートシティ推進パートナー：株式会社 KDDI 総合研究所、UR 都市機構、
名鉄バス株式会社、市内タクシー組合、
高蔵寺まちづくり株式会社、株式会社日本総合研究所

4 その他(過去の実績等)

平成 29 年度(2017 年度)から名古屋大学と連携してモビリティサービスに関する実証実験に取り組んでおり、平成 31 年(2019 年)1 月から 2 月にかけて、高蔵寺ニュータウン内でタクシーの相乗りサービス、住民共助によるボランティア輸送、ゴルフカートを活用したゆっくり自動運転®の実証実験を実施しました。